

ASEAN 国際共同研究「環境・エネルギー、生物資源・生物多様性、防災」 2019年度 年次報告書	
研究課題名（和文）	日 ASEAN 科学技術イノベーション共同研究拠点 — 持続可能開発研究の推進 —
研究課題名（英文）	Japan-ASEAN Science、Technology and Innovation Platform: Promotion of Sustainable Development Research
日本側研究代表者氏名	河野 泰之
所属・役職	京都大学東南アジア地域研究研究所・教授
研究期間	2015年 9月 2日 ~ 2020年 8月 31日

## 1. 日本側の研究実施体制

ワークパッケージ No. 1	日 ASEAN 科学技術イノベーション共同研究拠点総括	
氏名	所属機関・部局・役職	役割
河野 泰之	京都大学・東南アジア地域研究 研究所・教授	全体総括
柴山 守	京都大学・国際戦略本部・ ASEAN 拠点アドバイザー	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点リーダ ー）
縄田 栄治	京都大学・大学院農学研究科・ ASEAN 拠点長	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営）、 WP3（生物資源・生物多様性分野の共 同研究推進）
福原 隆一	京都大学・東南アジア地域研究 研究所・特定研究員	JASTIP コーディネーター
望月 太郎	大阪大学・大学院文学研究科・教 授	共同研究拠点運営・ネットワーク形成 助言のための運営委員
大崎 満	北海道大学・大学院農学研究院・ 名誉教授	共同研究拠点運営・ネットワーク形成 助言のための運営委員
福土 謙介	東京大学・サステイナビリティ 学連携研究機構・教授	共同研究拠点運営・ネットワーク形成 助言のための運営委員
仁木 栄	国立研究開発法人 産業技術総 合研究所・エネルギー・環境領域	共同研究拠点運営・ネットワーク形成 助言のための運営委員

	領域長補佐	
園部 太郎	京都大学・学術研究支援室・URA	日 ASEAN 共同研究拠点運営支援
藤枝 絢子	京都大学・学術研究支援室・URA	日 ASEAN 共同研究拠点運営支援
鮎川 慧	京都大学・学術研究支援室・URA	日 ASEAN 共同研究拠点運営支援
鹿毛 桃子	京都大学・大学院総合生存学館・ 専門職員	日 ASEAN 共同研究拠点運営支援
小林 知	京都大学・東南アジア地域研究 研究所・准教授	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営）
岡本 正明	京都大学・東南アジア地域研究 研究所・教授	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営）
藤井 滋穂	京都大学・大学院地球環境学堂・ 教授	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営）
大津 宏康	京都大学・大学院工学研究科・教 授	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営、 WP4(防災分野の共同研究推進)
木原 正博	京都大学名誉教授(前大学院医 学研究科・教授)	WP1(日 ASEAN 共同研究拠点運営、 WP4(防災分野の共同研究推進)
石田 厚	京都大学・生態学研究センター・ 教授	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営、 WP3（生物資源・生物多様性分野の共 同研究推進）
井出 美知代	京都大学・東南アジア地域研究 研究所・教務補佐員	WP1（日 ASEAN 共同研究拠点運営事 務補佐）
吉岡 佐知子	京都大学・学術研究支援室・URA	日 ASEAN 共同研究拠点運営支援
大垣 英明	京都大学・エネルギー理工学研 究所・教授	WP2（環境・エネルギー分野のサテラ イト拠点リーダー）
石原 慶一	京都大学・大学院エネルギー科 学研究科・研究科長	WP2（環境・エネルギー分野のサテラ イト拠点サブリーダー）
菅原 勝康	秋田大学・工学資源学部・教授	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
原 正一郎	京都大学・東南アジア地域研究 研究所・教授	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
安部 武志	京都大学・大学院工学研究科・教 授	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
佐野 紀彰	京都大学・大学院工学研究科・准 教授	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
佐川 尚	京都大学・大学院エネルギー科 学研究科・教授	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
三浦 孝一	京都大学・エネルギー理工学研 究所・特任教授	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
長家 友美子	京都大学・エネルギー理工学研 究所・事務補佐員	WP2（日 ASEAN 共同研究拠点運営事 務補佐）
宮原 雄人	京都大学・大学院工学研究科・助 教	WP2（環境・エネルギー分野の共同研 究推進）
神崎 護	京都大学・大学院農学研究科・教 授	WP3（生物資源・生物多様性分野のサ テライト拠点リーダー）
渡辺 隆司	京都大学・生存圏研究所・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野のサ テライト拠点サブリーダー）

梅澤 俊明	京都大学・生存圏研究所・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
吉村 剛	京都大学・生存圏研究所・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
梅村 研二	京都大学・生存圏研究所・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
森 拓郎	広島大学・大学院工学研究科・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
北守 顕久	大阪工業大学・工学部・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
矢野 浩之	京都大学・生存圏研究所・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
阿部 賢太郎	京都大学・生存圏研究所・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
西村 裕志	京都大学・生存圏研究所・助教	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
杉山 淳司	京都大学・生存圏研究所・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
矢崎 一史	京都大学・生存圏研究所・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
高野 俊幸	京都大学・大学院農学研究科・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
上高原 浩	京都大学・大学院農学研究科・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
畑 俊充	京都大学・生存圏研究所・講師	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
小林乃律代	京都大学・生存圏研究所・事務補佐員	WP3（日 ASEAN 共同研究拠点運営事務補佐）
太田 貴大	長崎大学・大学院水産・環境科学総合研究科・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
内藤 大輔	京都大学・大学院農学研究科・特定准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
前原 昭次	福山大学・薬学部・助教	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
門田 有佳子	京都大学・大学院農学研究科・特定研究員	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
竹松 葉子	山口大学・農学部・教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
清水 伸泰	京都学園大学・バイオ環境学部・准教授	WP3（生物資源・生物多様性分野の共同研究推進）
寶 馨	京都大学・総合生存学館・学館長・教授	WP4（防災分野のサテライト拠点リーダー）
浅沼 純	筑波大学・アイソトープ環境動態研究センター・教授	WP4（防災分野の共同研究推進）
立川 康人	京都大学大学院・工学研究科・教授	WP4（防災分野の共同研究推進）
安田 誠宏	関西大学・工学部・准教授	WP4（防災分野の共同研究推進）
竹林 洋史	京都大学・防災研究所・准教授	WP4（防災分野の共同研究推進）

余田 成男	京都大学大学院・理学研究科・教授	WP4(防災分野の共同研究推進)
清野 純史	京都大学大学院・工学研究科・教授	WP4(防災分野の共同研究推進)
今村 文彦	東北大学・災害科学国際研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進)
Suppasri Anawat	東北大学・災害科学国際研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進)
田中 茂信	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、マレーシア担当)
中北 英一	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、マレーシア担当)
千木良 雅弘	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、マレーシア担当)
畑山 満則	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、マレーシア担当)
角 哲也	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、ベトナム担当)
Sameh Kantoush	京都大学・防災研究所・准教授	WP4(防災分野の共同研究推進、ベトナム担当)
飛田 哲男	関西大学・工学部・准教授	WP4(防災分野の共同研究推進、タイ担当)
井口 正人	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、インドネシア担当)
佐山 敬洋	京都大学・防災研究所・准教授	WP4(防災分野の共同研究推進、インドネシア担当)
西嶋 一欽	京都大学・防災研究所・准教授	WP4(防災分野の共同研究推進、フィリピン担当)
丸山 敬	京都大学・防災研究所・教授	WP4(防災分野の共同研究推進、フィリピン担当)
井上 園	京都大学・総合生存学館／防災研究所・事務補佐員	WP4 (日 ASEAN 共同研究拠点運営事務補佐)

## 2. 日本側研究チームの研究目標及び計画概要

本拠点共同研究では日 ASEAN 科学技術イノベーション共同研究拠点総括班（ワークパッケージ:以下 WP1）の下に、オールジャパン、オール ASEAN の研究活動の推進に向け、環境・エネルギー研究班（以下 WP2）、生物資源・生物多様性研究班（以下 WP3）、防災研究班（以下 WP4）を置き、日 ASEAN での共同研究活動を継続実施するとともに、本年度はこれまでの活動を総括し、研究成果の SDGs 達成に向けた貢献を検討するとともに、社会実装を実現するための活動を行う。JASTIP-Net 等を活用して日 ASEAN のより多くのステークホルダーとの連携を継続・推進する。複数の WP に関わるシンポジウムを企画・実施する。日 ASEAN で展開される環境・エネルギー、生物資源・生物多様性、防災に関する研究プロジェクト情報を SATREPS や e-ASIA を中心に整理し、活動内容や成果の情報発信を強化する。また 2018 年度に開始された文部科学省主導の日 ASEAN STI for SDGs ブリッジングイニシアティブでの取り組みでの情報発信や社会実装など、本年度 JASTIP が計画している活動に関連の強い項目については関係機関と協議の上、効果的な連携を計る。

### 3. 日本側研究チームの実施概要

研究総括班(WP1)では、中核拠点の運営を軌道に乗せ、SDGs 達成に向けた多面的・多層的な共同研究プラットフォームの形成を目指し、中核拠点と各研究拠点の連携の強化だけでなく、学際的な研究課題の発掘をコーディネートする。本年度は JASTIP-Net を国際共同研究における最初の協働・共創のきっかけとして、また拠点を設置した 3 ヶ国以外へ JASTIP の活動を広げる仕組みとして継続し、JASTIP の SDGs 達成に向けた「見える化」向上と社会実装に貢献した。具体的には複数の WP が関わる第 7 回 JASTIP シンポジウム(2019 年 10 月、ジャカルタ)、第 8 回 JASTIP シンポジウム(2020 年 1 月、ハノイ)を企画・実施し、新たなネットワーク・パートナーシップの構築に寄与した。また日 ASEAN で展開される環境・エネルギー、生物資源・生物多様性、防災に関する研究プロジェクト情報を SATREPS や e-ASIA を中心に整理し、活動内容や成果の情報発信を強化した。さらに研究動向や研究成果を SDGs の目標と指標にリンクさせるため国際機関との連携を深めグローバル展開する実証の方向性を検討し、共同研究成果の社会実装に向けて政策提言を含めた取り組みを促進した。

環境・エネルギー分野(WP2)では、NSTDA との共同研究の推進と環境・エネルギー分野でのオール ASEAN-オールジャパン共同研究体制への拡張を継続して行った。JASTIP と JASATIP-Net で開始した共同研究を推進するとともに、サテライト拠点、共同研究対象国及び我が国の共同研究機関の拡大を図り、日-ASEAN の共同体制の強化を進めた。

生物資源・生物多様性分野(WP3)では、ASEAN 域に展開した研究ネットワークを生かして、生物多様性、植物資源探査、木質材料の有効利用、微生物相を利用した木質素材転換とバイオレメディエーションに関する日 ASEAN の共同研究の成果の公開を継続して進めた。また、JASTIP が構築した企業とのネットワークを利用して、研究成果と企業とのマッチングを推進し、社会実装へ向けた展開を第 7 回 JASTIP シンポジウムのサイドイベント等を通じて、WP1 と共同で積極的に支援した。さらに、日 ASEAN 間の遺伝子資源に関する共同研究における、アクセスと公正・衡平な利益配分に関するコンプライアンスの普及を図るとともに、ブルネイ、フィリピンとの連携強化も試みて、ASEAN 域の生物資源・生物多様性の科学技術研究のプラットフォームとしての強化を継続している。

防災分野(WP4)では、前年度までの共同研究の成果を取りまとめた。またそれらの研究の進捗、人的及び機関間ネットワークの構築に基づき、ASEAN 防災共同研究枠組みの確立を行った。すなわち、JASTIP 国際防災研究ネットワーク（仮称 JIDN）を設立し、その本拠を MJIT に置く計画が進行中である。これにより、本プロジェクトの成果として ASEAN の防災研究者のネットワークが形成され、その後の活動が自立的に維持されることを意図している。また第 7 回 AUN/SEED-Net 防災地域国際会議 RCND2019 (7th AUN/SEED-Net Regional Conference on Natural Disaster)を JASTIP-WP4 の第 5 回国際シンポジウムと合同開催した。また、この会議において JASTIP-Net の全採択者が研究成果を発表した。